

申 し 入 れ 書

2016年8月26日

J F Eエンジニアリング株式会社
代表取締役社長 狩野 久宣殿

辺野古のケーソンをつくらせない三重県民の会
代表 柴田 天津雄 (090-6807-1089)

JFEは辺野古基地建設用のケーソンを製造しないでください

わたしたちは昨年2月、沖縄の仲間から、三重県で辺野古基地建設用のケーソン6基がつくられて、沖縄に運ばれるらしい、という報告を受け、驚きました。

琉球新報(2月1日)の記事で、三重県でケーソンがつくられて沖縄に運ばれることが報道されています。三重県で巨大なケーソンを製造する能力のある施設はJFEエンジニアリング津製作所以外にはありません。

わたしたちは昨年5月、貴社に申し入れをしました。貴社は当初はわたしたちに面会して、申し入れを受ける約束をしました。しかし、5月12日に約束通り、申し入れに行くと「一切の面会はしない」と一方的に約束を反故にしました。それ以来、貴社はわたしたちと誠意ある面会を拒否し続けています。

わたしたちはJFEエンジニアリングが沖縄・辺野古基地建設用のケーソンをつくらないように要請する署名を三重県や全国で集めました。現在(8月20日)、16,629筆の署名が寄せられています。本日、貴社に提出すべく持参しております。

安倍政権は参議院選挙でも、安保政策は争点として押し出さず、選挙が終了するや否や、沖縄・高江地区のヘリパット建設を強行し、辺野古基地建設に向けて動き出すなど、欺瞞的政治を繰り返しています。沖縄では、基地建設阻止をかかげて、毎日、多くの人々がたたかいを続けています。

辺野古基地建設は普天間基地の代替ではありません。全く新しい機能を持った米軍の新基地です。オスプレイの常駐基地となり、新たな戦争の前線基地です。ベトナム戦争、イラク戦争のときのような出撃拠点の建設をこれ以上許すことはできません。

貴社は、企業理念として「地球環境との共存」を掲げています。辺野古基地建設はジュゴンの住む海の環境を破壊します。貴社が「戦争協力企業」とならないよう、わたしたちは貴社が沖縄・辺野古基地建設用のケーソン製造からいますぐ手を引くよう強く申し入れます。